

第78回 釧路太田農業協同組合 通常総会



INDEX

- 釧路太田農業協同組合 第78回通常総会開催 2
組合長開会の挨拶 4
- 各組合・団体総会開催 6
- JAトピックス 9
- 釧路太田集落 欧州海外視察研修後半報告 12
- 営農ホットライン 17
- 購買課通信 6月ソフトクリーム日程 18
- みんなの広場 19
- JAインフォメーション 20

今月の表紙は
5月9日に開催された
第78回通常総会
の様子ミル！



釧路太田農業協同組合



←JA 釧路太田オフィシャルウェブサイト
www.ja-kushirooota.or.jp/

ja 釧路太田



釧路太田農業協同組合 第78回 通常総会

開催



令和7年5月9日(金)に、太田活性化施設「らくとぴあ」にて、第78回釧路太田農業協同組合の通常総会が開催されました。

開会にあたり、J A綱領の朗唱後は、「令和6年度良質乳生産基盤強化奨励対策表彰」について表彰され、それぞれ賞状と副賞を授与されました。

福井組合長の開会挨拶の後、来賓を代表して厚岸町水産農政課石崎課長、厚岸町議会大野利春議長、連合会を代表してJ A北海道中央会根釧支所の熊谷支所長の3名の方にご挨拶をいただきました。その後、仮議長である組合長より小野寺竜之介議長が指名され、総会が始まりました。

本総会において、正組合員数160名に対し、本人出席47名、委任状出席49名、議決権行使書面37名、合計133名により総会が成立していることを告げ、議事説明が進められました。

議案について事務局より、第1号議案「定款の一部変更について」、第2号議案「令和6年度事業報告並びに貸借対照表、損益計算書、

剰余金処分案及び注記表の承認」、第3号議案「令和7年度事業計画の設定について」、第4号議案「営農指導費の賦課及び徴収方法について」、第5号議案「役員報酬の支給」、第6号議案「土地改良法に基づく草地改良事業の実施について」、第7号議案「役員の選出について」説明され、報告事項は3項目報告されました。

概ね前年なみの出席者となり、たくさんの方の質問や意見が出されました。主なご意見や質問としては「出資増口の考え方」「決算状況と積立金の取り崩しについて」「農政活動への取り組みについて」「各種利用料率の見直し内容について」などの質疑をいただきました。

令和6年度は春先から天候に恵まれ、良質な粗飼料が確保できた結果、生乳生産量は前年対比0.9%増の65,349tとなりました。当期末処分剰余金について



も5,440万円でこのうち出資配当金として1,338万円、事業分量配当金として2,506万円、任意積立金として事業運営安定維持積立金、災害対策積立金を合わせて500万円を積立することとなりました。

農業振興体制における主な取り組みとして、良質粗飼料確保に向けた「草地生産性向上推進事業」及び「良質粗飼料対策事業」の実施、乳牛の疾病予防のために「乳牛疾病予防対策」や「系統利用推進対策」の実施、地域社会のコミュニティ維持・発展の取り組みとして、担い手確保に向けた新規就農者希望の情報収集や農業者フェア等の参加やホームページを活用して実

習生応募者の増加を目指し、地域に人が集まるような活動を行って参ります。

また、出資金最高持口数の限度を増加することで、自己資本を充実し健全な経営維持に努めて参ります。

役員改選による新体制のもと、持続可能なJAの経営基盤の強化を図りながら、健全なる農家経済と農協運営の安定に努めて参りますので、組合員皆様のご理解とご協力を引き続きよろしく申し上げます。

新役員体制

監事(員外)	監事	代表監事	信用担当理事	理事兼務参事	理事	理事	理事	理事	副組合長理事	代表理事組合長	会長
稲垣頼信	佐々木操	河村芳則	石倉建太郎	松田浩昭	小澤香里	小山裕市	米澤佳洋	村田吉盛	河村公貴	齋藤泰広	徳田善一

釧路太田農業協同組合 第78回通常総会

開会の挨拶



代表理事組合長

福 井 好 三

本日は組合員をはじめ、ご来賓各位におかれましては、ご多忙の中ご出席を賜り、ここに第78回通常総会を開催できますことを心より厚くお礼申し上げます。

また、組合員各位におかれましては、日頃より農協運営・事業推進にあたり特段のご理解・ご協力を頂き深く感謝申し上げます。

そして、本日本変お忙しい中、ご出席を賜りました関係機関の皆様におかれましては、当農協業務推進に多大なご指導、ご支援を頂いておりますことをこの席をお借りして厚くお礼申し上げます。

我が国の経済情勢は、令和6年11月に発足した第2次石破内閣が、地方創生や物価上昇を上回る賃金上昇の定着化を掲げており、与党が過半数を割り込む中、どのような経済政策を打ち出せるかが注目されております。

また、ロシアのウクライナ侵攻、中東情勢の不安化に加え、アメリカ大統領選挙に勝利したトランプ氏による強硬外交の影響が、日本経済にどのような及ぶかが懸念されております。北海道経済におきましては、北海道新幹線の札幌延伸工事の本格化、省力化・デジタル化投資、再生可能エネルギー関連投資が堅調となっております。また、次世代半導体工場ラピダスに於いては令和9年4月の半導体量産製造開始に向かい、関連産業の集積が進んでおります。

さて、令和6年の北海道農業は、春先から天候に恵まれ農作業は順調に

スタートし、一部の地域では大雨による浸水等の被害があったものの、各作物の生育は概ね順調に推移し、豊穣の秋を迎えることができました。生乳の生産については、粗飼料やデントコーン収穫は、一部地域では収穫の遅れが生じたものの、概ね平年並みで推移し、減産により毀損した酪農生産基盤の回復に努めることができました。

当地区におきましても、総じて天候が良く、牧草・デントコーンとも適期に収穫することが出来、収量・成分ともに良好で、全体として良質な粗飼料が確保することが出来ました。生乳生産量も春先は農家戸数減少により、乳量の落ち込みがあったものの、今年の牧草収穫後は徐々に乳量も回復し、前年対比(農協年度)100・9%の生乳生産が確保されました。

また、世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや、地球環境問題への対応、海外の市場の拡大等、農業を取り巻く情勢が変化しているなか、令和6年6月5日、「食料・農業・農村基本法」の改正法が施行され、制定から四半世紀が経過する中で、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少化における農業生産の維持・発展と農村の地域コミュニティの維持」の実現を目指し、基本理念の見直しと関連する基本的施策等を着実に進め、食料安全保障の強化等に向けた農業の構造転換を図るための施策を集中的に実施することとなります。

当JAとしては、食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立のために、農地の確保および適正利用の強化、食料・自給飼料等の安定生産・供給と環境負荷軽減の両立に取り組みながら、それを後押しする力強い政策支援を求めていくことが重要と考えており、JAグループ北海道と足並みをそろえて農政運動に取り組んで参ります。

一方、JAをめぐる情勢は、全道JAの正組合員数は平成29年以降毎年減少しており、准組合員数についても毎年減少している状況であります。

このようななか、令和6年11月に開催された第31回JA北海道大会において、『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』ひとを育み、ひとと歩むの将来ビジョンを設定し、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「農業・

食・JAへの理解醸成、アグリアクション北海道」の3つの議案を決議しました。また、それらの実現に向け「16」の基本目標、「33」の重点取り組み事項を設定し、取り組むことと致しました。

令和6年度のプール乳価は補給金と合わせて123円47銭(前年度117円93銭)(当農協実績)となり、個体販売については年度当初は価格が回復傾向にあったものの夏以降は販売価格が下落したままの状態が続き、配合飼料、肥料、燃料など生産資材は依然として高値で取引されており、農家経済状況は一昨年よりは回復したものの総じて厳しい状況となっております。

これらの情勢の中、令和6年度始めにかけて経営中止があったものの、当地区の生乳生産は、前年対比103・3%の66,880トンの目標に対し、前年対比100・9%、65,349トンの実績となりました。組合員皆様には日頃より良質乳の出荷に際しご苦労も多かったことと存じます。衷心よりそのご苦労、ご努力に厚く感謝とお礼を申し上げます。

当農協では、農業情勢・農協経営の先行きが不透明な中ではありますが、持続可能な農業経営を図るための生産資材高騰対策等の各種助成に努めて参ったところであります。組合員各位の積極的なご協力、ご理解を賜り役職員一致協力して運営にあたり、今期決算を無事終了することが出来ました。

令和7年度の加工原料乳生産者補給金単価は集送乳調整金と合わせて前年より23銭増の11円90銭、交付対象数量は前年同量の325万トンとなりました。更に、補給金を合わせたプール乳価については、5・5円/kgの引き上げとなる見通しとなりました。当農協においては本年の計画生産数量は、66,546トン、前年対比101・8%の目標を立てています。消費者は常に良質で安全・安心な牛乳を求めていますので、より衛生的・成分的乳質の向上を重視した飼養管理に取り組んでいかなければなりません。

今期農業振興における主な取組事項としては、良質粗飼料確保に向けて「草地生産性向上推進事業」及び「良質粗飼料対策事業」を実施し、乳牛の疾病予防のために「乳牛疾病予防対策」のほか「系統利用促進対策」も行って参

りたい。

更に良質な粗飼料確保・労働軽減に向けて、コントラ事業の体制整備、担い手確保に向けた担い手受入推進事業の推進、乳牛検定事業、哺育・育成預託事業の安定的運営に努めて参ります。

地域社会のコミュニティ維持・発展のための取り組みとしては、担い手確保に向けて新規就農希望者の情報収集や農業人フェア等の参加やホームページを活用して実習生応募者の増加を目指し、地域に人が集まるような活動を行って参ります。

JAの固定資産取得の主なものとして、車両・機械関係では防衛施設周辺整備事業によりトラクターとモアコン、コーンプランターを導入致したい。その他、工具器具備品の取得、事務所トイレ、共済相談室の設置、尾幌給油所の計量器等の改修工事を執り行いたい。なお、詳細については計画の中で提案させて頂きしますのでご承認をお願い申し上げます。

JAの運営面では、牛乳運賃、コントラ利用料金、哺育事業の預託料金について値上げをし、収支改善も図って参りたい。

一昨年より検討しておりました、農協大別牧野については、農協での放牧事業は断念し、町営牧場へ賃貸をして有効活用を図って参りたい。

尾幌給油所については、営業時間の短縮、休日の増加により、合理化・効率化および収支改善を図って参りたい。

更に人材確保の面で事務所内週休二日制の導入、労働時間の改善、時間外労働の適正化を図って参ります。

また、持続可能なJA経営基盤の確率・強化として出資最高持口数の限度を増加して参りたい。組合員皆様のご理解を賜りたく、よろしく願い申し上げます。

最後になりますが、地域の安定した生産基盤の構築のため、組合員と農協の結束を深め、相互理解のもと各種事業に積極的推進を図り、健全なる農家経済と農協運営の安定に役職員一同、決意を新たに最善の努力を致す所存であります。

組合員各位のご理解・ご協力と関係機関のご指導・ご支援を切にお願い申し上げます。



厚岸町乳牛検定組合 第46回 通常総会

開催



令和7年5月1日(木)11時より、太田活性化施設「らくとぴあ」にて、第46回厚岸町乳牛検定組合の通常総会が開催されました。

開会にあたり橋本組合長が開会のあいさつをし、来賓6名を招き、開催することが出来ました。祝辞については、JA釧路太田の河村副組合長様、釧路農協連の斉藤課長様の2名よりいただきました。

議長については、内柴栄輔氏が指名され、全議案について、出席者数19名、委任状14名の満場一致で可決されました。

【総会議案】

●議案第一号

令和6年度事業報告並びに貸借対照表及び収支決算書の承認について

●議案第二号

令和7年度事業計画並びに収支予算書(案)の承認について
負担金の徴収方法について

●議案第三号

【来賓紹介】

釧路太田農業協同組合

副組合長 河村 公貴 様

釧路農業協同組合連合会

生産振興課長 斉藤 晃一 様

釧路農業改良普及センター

釧路東部支所長 田口 容士 様

北海道農業共済組合

釧路東部支所長 梶谷 涼 様

厚岸町役場

水産農政課長 石崎 辰也 様

厚岸町酪農ヘルパー利用組合

組合長 加藤 雄大 様

令和7年度の事業活動については、正確で簡素化したデータ蓄積を目指すと共に、牛群検定事業においても個体識別情報に基づいた個体管理を行い、牛群検定管理向上のためにより一層の検定成績の活用を推進し、効率的な農業生産活動の継続を図るべく事業推進に励み、正確かつ迅速に各種情報をフィードバックするため牛群検定WebシステムDLの普及・推進を進めると共に、牛群検定普及率の向上に努め、多様化する酪農経営の支援システムの一つとして重要な役割を果たしていきたいと考えております。

また、乳検組合への加入は随時お申込み承っておりますので、興味のある方は事務局まで問合せをお願い致します。

厚岸町酪農ヘルパー利用組合 第34回 通常総会 開催



令和7年5月1日(木)12時半より、太田活性化施設「らくとぴあ」にて、第34回厚岸町酪農ヘルパー利用組合の通常総会が開催されました。開会にあたり加藤組合長が開会の挨拶をし、来賓5名を招き、開催することが出来ました。祝辞については、J A 釧路太田の河村副組合長様よりいただきました。

議長については、村田吉盛氏が指名され、全議案について、出席者数30名、委任状20名の満場一致で可決されました。

【総会議案】

- 議案第1号 令和6年度事業報告並びに収支決算書の承認について
- 議案第2号 令和7年度事業計画並びに収支予算書(案)の承認について
- 議案第3号 北海道酪農ヘルパー統合互助会について
- 議案第4号 規約の改正について

● 議案第5号 役員の改選について 【来賓紹介】

釧路太田農業協同組合	副組合長	河村 公貴 様
釧路農業改良普及センター		
釧路東部支所長	田口 容士 様	
厚岸町役場		
水産農政課長	石崎 辰也 様	
釧路太田集落		
委員長	齋藤 泰広 様	
厚岸町乳牛検定組合		
組合長	橋本 隆幸 様	

令和7年度においても、引き続き民間会社との常務提携にて傷病時対応を実施すると共に、ヘルパー要員の確保においても、より一層努力して参りたいと思っておりますので、ご指導ご支援を宜しく御願い申し上げます。

J A 釧路太田肉牛同志会総会と ふれあい農園開園前準備

令和7年5月14日(水)午前10時より、ふれあい農園開園準備として石拾いを1時間程度行いました。今年は例年より石が多く、天候も心配されましたが無事に作業を終えることができました。通常開催はM&M夢工房和室において開催致しました。

来賓として松田参事をお招きし、祝辞を頂きました。議長には佐々木 薫氏が選任され、議事について執り進め、全ての議事において可決されました。



〈可決承認された議案〉

●議案第1号 令和6年度事業報告及び収支

決算書の承認について

●議案第2号 令和7年度事業計画及び収支

予算の承認について

総会終了後は、おいしい焼肉を食べながら親睦を深めました。

例年行っていた視察研修を今年も予定をしています。今後の運営につきましてご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

新役員体制

会長	木原 晃
副会長	西野 義幸
理事	齋藤 泰広
理事	江幡 満
理事	兵頭 剛
理事	河村 公貴
代表監事	小澤 洋之
監事	北村 信美

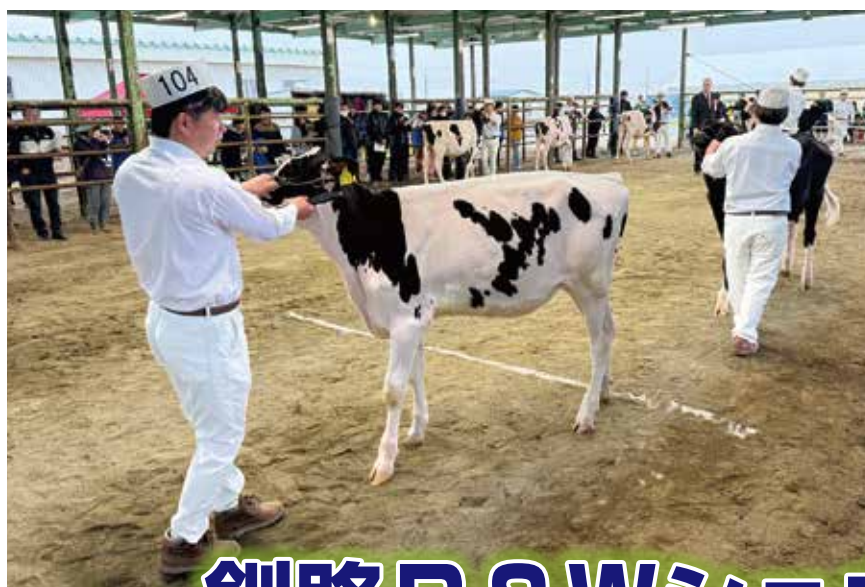
J A 綱領

―わたしたちJAがめざすもの―

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等)に基づき行動します。そして地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

- 一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
- 一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
- 一、JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
- 一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
- 一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追おう。



釧路B&Wショウ参加!

令和7年5月10日(土)に、釧路農協連共進会場にて、釧路ホルスタイン協会主催による、第45回釧路B&Wショウが開催されました。

当農協からは、橋本隆幸さんが第1部育成ジユニアクラス(9ヶ月未満)に『サニウエイアデイン チーフ』、第2部育成シニアクラス(9ヶ月以上11ヶ月未満)に『サニウエイ ユニクス デルタラムダ ET』、第3部未經産ジユニアクラス(11ヶ月〜13ヶ月未満)に『ステイゴールド アップル チーフ サクサクパイ』の3頭、内柴栄輔さんが第12部シニア3歳クラス(42ヶ月以上48ヶ月未満)に『セジス ダイアモンドバック ソニ』、第14部5歳・成牛クラス(5歳以上)に『インブルシユウツド ホーリー ドアマン ET』の2頭で計5頭の出品となりました。

審査員はGENOSOURCE COOのカイル・デイマー氏が務めました。

当組合の5頭は第1部が5位、第2部が6位、第3部で4位、第12部で4位、第14部で4位となりました。

日々の酪農経営の中で、乳牛改良にも日々努力され、毎年参加してくださることに感謝する次第であります。

8月に開催予定の共進会では更なる高みを目指して乳牛改良に頑張っていたきたいと思います。今回参加された関係者の皆様、大変お疲れ様でした。



町営牧場、育成牛入牧!

育成牛入牧!

令和7年5月20日・21日・23日の3日間で厚岸町営牧場への一斉入牧が行われました。

今年の入牧頭数は町営牧場においては約302頭で10月末までの5ヶ月間、町内から集められた多くの育成牛たちは、広々とした放牧地で、おいしい牧草をたくさん食べながら、大きく育って帰ってくることを期待しています。





新規採用職員 酪農実習

酪農実習を終えて

伊藤 琉希

この度、5月1日、5月2日の日程で、片無去地区の村田理事の牧場で酪農実習をさせて頂きました。搾乳や、子牛へミルクを与えたり、糞除作業をさせて頂きました。朝4時と夕方の3時から搾乳を行いました。実家は酪農家であり、手伝いをしておりましたが、搾乳は行ったことが無かったので、とても貴重な体験でした。搾乳を行う際に複数の手順がありました。

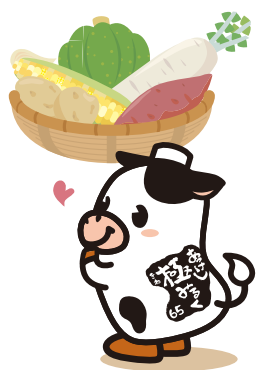
最初に牛の乳頭の消毒を行いその後に、タオルで拭き、手で生乳を搾る前絞りを行い、最後にミルクを付けるものでした。消毒液を付けたたり、タオルで拭き取ることはできたのですが、前絞りが難しかったです。搾る際に、親指と人差し指をうまく使って出すというものでしたが、自分が強く握っているつもりでも、握れていなかったり、親指と人差し指に力を入れ過ぎてしまふあまり、他の指に力が入っていなかったりなどがありました。村田さんにお手本を見せて頂くと、とてもスムーズに搾っていらっしまったので、「熟練の技」だなと感じました。

2日目も搾乳をさせて頂きました。昨日教えて頂いた事を意識して搾乳を行いました。すると、昨日よりも搾ることができましたし、苦戦していたミルクも昨日よりもスムーズにつけることができました。

この2日間の酪農実習を通して、酪農家さんのお仕事はとても大変なことを改めて実感しました。酪農家さんがいるからこそ、私たちは美味しい牛乳を飲むことができたり、アイスクリームやチーズバターなど生活していく上でなくてはならないものを手に入れることができていると思いました。酪農実習で得た経験を今後の仕事に活かしていきたいです。



ふれあい農園 開園しました!



令和7年度のふれあい農園が5月16日(金)より開園致しました。今年度は沢山の利用応募もあり、初めて利用する方も含め、13名の利用者が集まりました。

区画内で、かぼちゃを育てたり、いも、大根、枝豆を育てたいと畑作業に精を出す利用者で農園が盛り上がりを見せております。

今年もとても暑くなるといいますので、作物の生育にも大いに期待をしています。

サツマイモも出来るのではないかとチャレンジをしたい利用者もいらっしやいました。

JAにて管理している区画では、じゃがいも(きたあかり・メークイン)、とうもろこし(ハニーバングム・ピクニック)に加え新しくカボチャの作付けを予定しています。

また、今年は前年の反省を踏まえ、雑草が生えないよう畑の管理を徹底したいと思います。

JAへの就職希望者100%就職 (令和6年度実績)

令和8年度 第1回学生募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1力年 ●寮完備(個室) ●通学制
- 受験資格：満27歳未満(令和7年4月1日現在)
大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：9月20日(土) ●願書受付：7月11日(金)～8月29日(金)消印有効
- オープンキャンパス随時開催中



令和7年度より
通学制開始

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417

JAカレッジ

検索



釧路太田集落

欧州視察研修 後半報告

令和6年12月4日(水)～12月13日(金)の10日間に渡って、釧路太田集落主催による欧州海外視察研修を実施致しました。

5月号では視察の前半の報告として、オランダの視察先についてご報告致しましたが、今月は後半としてフランスのご報告をさせていただきます。

【視察参加者】

○生産者

・河村 公貴(団長)

・市川 勝美・佐々木 操

・加藤 雄大・北村 竜斗

・糸納 一美

○JA事務局 営農振興課

・小川 勝基・小島 一太

○関係機関

・ホクレン北見支所 渡辺 崇

・ジェネティクス北海道 早川 泰斗

■今月号の報告は

フランス



コンテ博物館



コンテチーズとはフランスを代表するチーズ。コンテチーズの原料となる生乳は95%がモンペリアード種で5%がフレンチ・シンメタール種。

コンテチーズの原料になる条件「牛1頭あたり最低1・3haの草地で放牧」「チーズ工房の25km圏内の牧場からのみ生乳を収集」「搾乳後24時間以内にコンテチーズに加工」など厳しい条件が多数ある。



1978年設立。モンベリアード種の凍結精液を世界各国に輸出。年間80万頭分の精液を採取。衛生管理が徹底されており、決められた人のみ牛に触れることが許されている。精液は毎週月・水・木に採取している。フランス国内で82%のシェア率。



木造型の牛舎。コンテチーズの原料になる生乳を生産。（モンベリアード種のみ飼育。）
搾乳頭数は75頭、1頭あたりの平均年間乳量は8,000kg。平均産次数は4産、10%が5産以上の牛群。サイレージの給与は禁止されている。（コンテチーズが熟成中にチーズが膨らんでしまう為。）コンテチーズの価値を保つために、生乳生産量も出荷制限されている。



HECTAR

フランス人の資本家が2019年に400億円の私財を投じ設立。600haの広大な面積の中に企業向けの研修施設や農業施設等が配置されている。フランス農業も高齢化問題が深刻となっており、20〜30代の割合は7%。

●実験農場の取り組み

搾乳頭数は30頭。1日1回搾乳。100haの放牧地に通年放牧。春〜夏は1頭あたり1日15kgが平均。冬期は1頭あたり1日10kgが平均。生乳については自社で全てヨーグルトに加工。なお、一週間に10,000本のヨーグルトを製造。



欧州視察研修レポート



市川 勝美

今回のヨーロッパ研修2回目の最年長としての参加ありがたく思っています。

前回はモンベリアードが見たくので参加でしたが、今回はコンテチーズについて学びたくての参加でした。コンテチーズでは日本でも購入して食べていました。今回、マチュー牧場では、厳しい条件の中、生乳を生産されていました。夏は放牧で冬は乾草のみで子実のとうもろこしや麦を作り、配合飼料はあたえていませんでした。全頭モンベリアードで8,000kg、全量コンテチーズの原料で、ピカピカのジョンディアのトラクターがならび、利益が出ている牧場に感じました。このジュラ地方の2,400戸の酪農家の牛乳のみがコンテチーズということなので、ブランドینگ力と販

力は日本には全くないと感じました。世界中で売られているコンテチーズはジュラ地方の牛乳のみなので、生産者として誇りを持って生産できるし、厳しい条件の中で生産し、利益を上げることができているように感じました。

コンテチーズのお店で購入することもできたのですが、日本では30カ月以下の熟成がほとんどなのですが、フランスでは52カ月熟成を購入できました。なかなかのクセでやみつきになりそうです。日本ではホルスタインを飼養し、穀物を与えて生産性を高めて、牛乳があまると牛乳を廃棄し、牛を淘汰して、足りなくなると投資して牛を増やして、増産するというルーティンでやってきましたが、もう限界を感じました。どうやって搾るかよりどうやって売るか酪農家も考えないとならないのかもしれません。

今回、参加させてもらって、本当に勉強になりました。添乗員の方やアテンドしてくださった方、協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。



糸 納 一 美

農業教育、後継者育成の 試みについて



まずはじめに視察に際して農業後継者問題に関し農業教育としてどのような取り組みをされているのか注目し、フランスでアテンドくださった大澤氏に「フランス政府も農業教育に力を入れているようです、教育ファームというものを見てみたい」と言ったところ広くは認知されていないようで、私も日本で調べる限りでは情報が足りず後日改めて調べてみますとの回答でしたが、その後大澤氏からHECTARの情報を提示していただき、まさに私が知りたかったものでしたので本場にありがたう大変助かりました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。さて、オランダ・フランスと参りまして丁度教育農場としても活躍されておりオランダ・フローティングファームとフランス・HECTARを比較してそれぞれの取り組みについて考察していこうと思います。

●概要と共通点

フローティングファームは初期投資約270万円で2019年に竣工した世界初の水上酪農

場です。都市型の循環型農業を実現すべく消費者に近くそしてCO2排出削減のために同じく水上に浮かぶソーラー発電、小型の風力発電、さらに都市からの廃棄物の問題にも着目し牛の餌に利用するなどフードロス削減にも取り組まれている。水上という立地から海水を汲み上げ牛の排泄物から出る熱を利用し塩を精製したり、排泄物を堆肥として利用する他に生活に利用できる形(植物のポットや建築資材)へ生まれ変わらせる取り組みも行っており、これらを実現するために企業や大学などの教育機関とも連携しながら現在もなお成長し続けている農場である。

HECTARは資産家でスタートアップ企業のサポート事業を成功させた後、約400億円の私財を投じて2019年より準備を進め2021年オープンさせた。環境再生型農業を目指し、少ない投資と少ない労力でどのようにして農家の所得を増やすかという事を企業の協力を得ながら実験的農場としてさらに教育農場としても現在発展し続けている施設である。

いずれも政府の援助も受けながら政策だけでは補いきれない部分を民間同士の連携で持続可能な農業を目指している。そして農業教育という面においても大学などの教育機関と連携した学校の課外授業に取り入れてもらったり、若者の育成プログラムを組んだり、それぞれ若者を巻き込んで未来への投資を活発に行っている。どちらも同じことをおっしゃっていたのだが、「農業は今、若者を惹きつけるために努力しなければならぬ」と。そのために両農場は日々実験、探究を繰り返しながら変化している最中である。

●相違点

まずは初期投資が違いすぎますが、オランダのオーナーはより身近な存在の人が未来の「食」と「環境」のために立ち上がり行動を起こしたという印象でしょうか。対するHECTARはフランス全体の抱える問題を考えた時に「農業」も含まれ未来への投資として教育施設を作ったような感じでしょうか。そこには自身の関連企業も協賛し事業への連携も構築されているので多方面からのビジネスにつながるヒントを得ていると考える。この農場以前にスタートアップ企業のサポートをしていることにもつながるが、そうして若者の考えを農業のみならず関連企業と共有させる動きは実業家として上手いサイクルを作ったと思う。

次にフローティングファームはオランダという限られた土地で農業をするにあたってこの農場だけで言えば土地を持たず近隣農家や地市からの廃棄物を利用することで成り立っている。ですから現状ではこの農場単体では餌を賄うことは難しいので、自ら生乳の生産、加工、販売まで手掛け店舗で協賛している農家の生産加工品や企業の商品なども販売することでお互い利益を得られる形を作っている。そして地域の消費者の人たちがボランティアとして関わることでそこに地域コミュニティができて農業への理解者ができる良いサイクルが出来上がっている。対するHECTARは今ある農場にあまり手を加えることなく、より自然な方法で農業を継続させていくものです。既存の農家の所得向上と作業軽減も目的としてあります。利益を生み出すために加工まではするが、販売まではせずに

卸業者に委ねそこでそこにかかるコストをかけないようにしている。商品を卸すにしても個人に売るといふよりか、まとめて定期的に購入してくれる相手を選ぶ必要があり、そこにはやはり企業とのマッチングが必要になってくる部分なので、そこをこの施設は担っているようです。

環境問題についてオランダは概要でも述べたとおりかなり攻めたより先進的な方法を利用して取り組まれているといった感じを受けました。そして施設を新設していることと海上に浮かぶものなので施設の塩害についてまだ新しいので悩まされるのはこれからなのかな…とも、この先ソーラーパネルの交換やそこにかかるコストなども気になりました。HETARでは施設にあまりお金をかけずできる限り餌も自給し自然と共存する方向を目指すことで環境を守るという感じでしょうか。土地を購入した際、かつての農業政策で取り払われていた生垣を放牧する牛の日陰を作るために再生させている最中でした。

最後にアニマルウェルフェアについて、フリーティングファームではフリーストールの中で飼育ロボット搾乳であり人間が関わる必要が少ないという状況を作り、何をするにも自由ですと語っておられました。HETARは年中放牧していることと1日1回搾乳で農場に生えた草、ロールしか食べていないとおっしゃっていました(放牧地の草を食べることで飲水量を軽減できる)。牛に無理をさせず適度に運動することにより健康な牛が育ち、さらに獣医にかかるコストも削減できるとおっしゃっていました。

●まとめ

どちらも最初の入り方は違いますが異なった方法で環境問題と向き合っていましたし若者の農業への関心をどのようにこちらに向かわせるかということに尽力されておりました。どんなに科学が進み生活様式や環境が変わろうとも生物が生きていく為に「食べる」という行為は呼吸することと同じく止めることはできません。それを継続させる為には食べ物を得続けなければならぬということ。人口が増え限りある自然環境の中でどのようにして人間が「生」食を繋いでいくか、そこに危機感を持って行動されている両農場。私も結婚以前は病院給食の栄養士をやっていた食に携わる人間だったからこそ思うのですが、大量生産というより必要な分だけ安心安全なものをこれからの消費者はより求めるような気がします。今日本は経済的に厳しく安価なものに頼らざるを得ませんが、それも長く続くとは思えません。それよりも農業を継続させていくための努力と環境に配慮した作物が必要になってきます。野菜等ではより顕著です。私たち酪農家は生乳生産に特化したところはありますが、農家自身もニーズに合った製品生産、農業を行うためにもリサーチし消費者にどんな努力をしているのか伝える術を持たなければならぬと思います。結局は経営者なのですからアピールすることも含め多岐にアンテナを張る行動力を身につけないといけないとも感じました。私には後継者が現在おりませんので夫の両親が守ってきた農場をどのようにして次の世代へ引き継ぐか、良い勉強になりましたし、若い世代に躊躇せずに様々なことにチャレンジし

てもらいたい思考の幅を広げてもらいたいと思います。そのためにも体が動くうちは次世代のために働き、成長を見届けながら徐々にフェイドアウトしたいと思っています。何にせよこれからはなぜ厚岸で酪農なのか？なぜ厚岸でなければいけないのか。厚岸だからこそできる乳製品とは何か？などというブランディング力も重要になってくるかと思っていますので、今回の視察を参考にしながら自分のやれる事を少しづつ積み重ねていこうと思います。



河村 公貴

今回、海外視察団团长として参加させて頂きました。

参加者が自ら視察地を選定し、現地情勢の事前説明、講習を受け、それぞれがしっかりと目的を持って意義のある視察研修にしようという意気込みがあり、出発前から非常に楽しみでした。

現地では、気候、文化、習慣など体験して初めてわかる事で視察内容をより深く理解する事ができ、視察先で、新たに疑問が出たり、参加者同士でのディスカッションが出来たりと、実際に海外に足を運ぶ意義をより感じる事ができ、参加者全員が刺激を受けて、満足出来た視察だったと思います。

今後このような視察が企画された時には、沢山の方に参加して頂きたいと思いますので、皆様お願いします。

涼しく過ごすために

根釧地域は酪農に適した冷涼な気候だと言われていましたが、近年は暑熱対策が必須の状況となっています。各牧場にあった対策をとって今年の夏も乗り切りましょう。

1. 換気を良くして良い環境

暑熱対策の効果は、温度、湿度、風速等により算出する湿湿度指数 (THI) で評価します(表1)。

牛舎内の気温が下がれば何でも良いというわけではなく、暑熱対策の為にミストを導入しても、換気が悪いと湿度が上昇してしまい、かえって牛にストレスを与える要因となります。

暑熱対策方法はいろいろありますが、換気が良いことが前提です。自分の牛舎で換気がきちんと出来ているか確認してみましょう。

また、送風機の角度を調整して直接牛体に風を当てることも効果的です(表2)。2m/sの風を直接当てることで体感温度を8℃下げることが出来ます。

表1) 風速1m/秒の時の修正THI

THI	湿度(%)															
	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90				
20	67	68	68	68	68	69	69	69	70	70	70	70				
21	69	69	69	70	70	70	70	71	71	71	72	72				
22	70	70	70	71	71	72	72	72	73	73	73	74				
23	71	71	72	72	73	73	73	74	74	75	75	76				
24	72	72	73	73	74	74	75	75	76	76	77	77				
25	73	74	74	75	75	76	76	77	77	78	78	79				
26	74	75	75	76	77	77	78	78	79	79	80	81				
27	75	76	77	77	78	79	79	80	80	81	82	82				
28	77	77	78	79	79	80	81	81	82	83	83	84				
29	78	78	79	80	81	81	82	83	84	84	85	86				
30	79	80	80	81	82	83	84	84	85	86	87	87				
31	80	81	82	83	83	84	85	86	87	87	88	89				
32	81	82	83	85	85	86	86	87	88	89	90	91				
33	82	83	84	86	86	87	88	89	90	91	92	93				
34	83	84	85	87	87	88	89	90	91	92	93	94				
35	85	86	87	89	89	90	91	92	93	94	95	96				

65未満 ストレスなし

65~71 軽度のストレス

72~81 強いストレス

82~91 非常に強いストレス



表2) 風速と体感気温

		気温(℃)				
		15	20	25	30	35
		体感気温(℃)				
風速(m/s)	1.0	9	14	19	24	29
	1.5	8	13	18	23	28
	2.0	7	12	17	22	27
	2.5	6	11	16	21	26
	3.0	5	10	15	20	25

2. 事例紹介

釧路管内で送風機の角度を調節して、牛に直接当たる風を強くした事例を紹介します(写真1、図1)。

60度に設置すると、近くの牛に当たる風は強くなり、45度で設置すると広範囲に風を送ることが出来ます。送風機の設置台数や牛床の数に応じて調節しましょう。

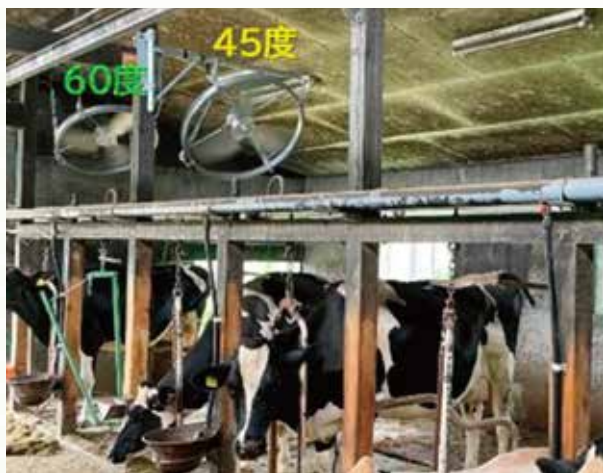


写真1) 送風機の角度調節

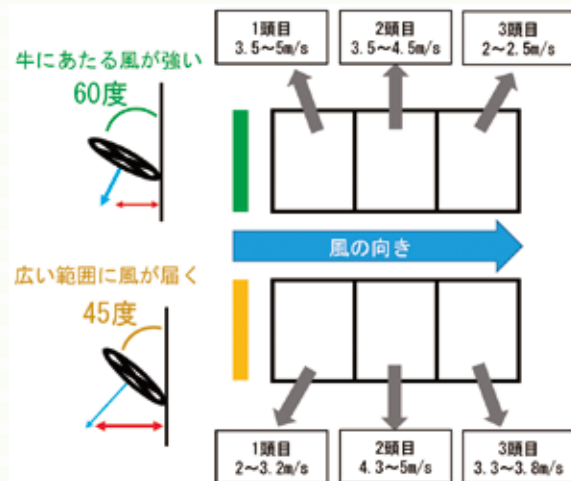


図1) 牛に当たる風の強さ

3. ふく射熱、放射熱を防ごう

遮光ネットやすだれ、塗料などを用いてふく射熱や放射熱(太陽光からの熱)を防ぐことでも暑さを軽減することが出来ます。資材によって光の透過率や通気性等が異なるため、目的や場所に応じて合ったものを選びましょう(写真2、3)。

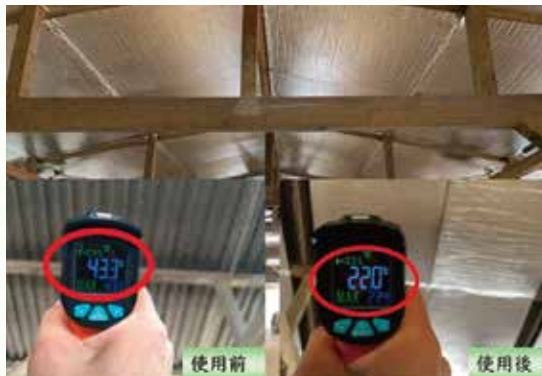


写真2) 熱遮断シートを活用したふく射熱の抑制



写真3) すだれを活用した放射熱の抑制

自分の牛舎に合った資材や換気が出来ているかを調べてみたい方は是非、普及センターまでご連絡ください。

暑い日は こまめに補給 水と塩

■お問い合わせ先／普及センター東部支所 TEL.0153-65-2021

購買課通信

あっけし極みるくソフトクリーム

6月 週替りメニュー予定表

定番

極みるくソフトクリーム

生乳をふんだんに使用し
自然な甘さで後味さっぱり
定番のミルク味

週

極みるくチョコソフトクリーム

生乳とカカオの風味を活かし
甘さをひかえた
さらりとした口当たり

替

極みるく珈琲ソフトクリーム

珈琲のほろ苦さが
生乳をひきたて
後味すっきり

り

極みるく抹茶ソフトクリーム

宇治抹茶の豊かな香りと
苦味の少ない
すっきりとした味わい

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 ※15時まで	5 ※10時から	6	7 ※正午まで
	抹茶ソフトクリーム		チョコソフトクリーム			
8	9	10	11 ※15時まで	12 ※10時から	13	14 ※正午まで
	チョコソフトクリーム		コーヒーソフトクリーム			
15	16	17	18 ※15時まで	19 ※10時から	21	21 ※正午まで
	コーヒーソフトクリーム		抹茶ソフトクリーム			
22	23	24	25 ※15時まで	26 ※10時から	27	28 ※正午まで
	抹茶ソフトクリーム		チョコソフトクリーム			
29	30	1	2 ※15時まで	3 ※10時から	4	5 ※正午まで
	チョコソフトクリーム		コーヒーソフトクリーム			

※日曜日・祝日は定休日の為、販売はお休みです！

※土曜日は正午までの営業です！

※6/4・6/11・6/18・6/25・7/2はメンテナンスの為、15時までの販売とさせていただきます。

※6/5・6/12・6/19・6/26・7/3はメンテナンスの為、10時からの販売とさせていただきます。

Aマートくしろおおた店

TEL52-7154 営業時間／9：00～16：00

みんなの広場

コミュニケーション



「声優・山崎たくみ 61th」故塩沢兼人さんの声質によく似ていると言われており、彼の持ち役を多数引き継いでいる。僕の好きな声優の一人です。

ペンネーム／猫兄貴



ペンネーム／うさぎ



ペンネーム／尚ミント

編集後記

いつもJ Aくしろおおたをご愛読いただきありがとうございます。

5月はゴールデンウィークやJ A釧路太田の通常総会、巡回ドックなど行事が多く、1ヶ月がとても早く感じました。

自分はゴールデンウィークの時に年下の親戚と顔を合わせていたのですが、それぞれ身長がのびていたり、雰囲気が少しずつ変わっているのを感じました。自分が親戚の中で一番年上なので、親戚で集まる時はよく小さい親戚の子たちの面倒をみていましたが、仲良く遊んでいる様子や学校の話などを聞いて、「みんな成長しているんだな」としみじみと感じました。

さて、6月1日には「厚岸町民の植樹祭」が開催されます。個人的に会場で多くの方と顔を合わせることを楽しみにしております。植樹祭には多くの方が参加されることを期待しております。

編集担当／S.A

皆さんから 牛乳や酪農を題材にした川柳を募集しています。

味噌汁の具にミツバ採る
夕暮に 遠き空をみる つるの群

(うさぎ)

もろい山柳



第2回 理事会報告

日時／令和7年4月28日(月)

報告事項

1. 令和7年4月中旬現在の生乳生産状況並びに3月末クミカン取引状況について

	当農協	釧路管内	※前年対比
4月中旬	105.0%	103.8%	
累計	104.5%	103.5%	

2. 組合員の資格変更について
3. 経営中止者の精算状況見込について

議決事項

1. 各種貸付金の貸付承認について
2. 信用供与等の限度額の設定について
3. 釧路太田良質乳生産基盤強化奨励事業表彰者について
4. J A 釧路太田系統飼料促進特別対策事業について
5. 令和6年度ホクレン生乳生産対策に係る支払い方法について

第3回 理事会報告

日時／令和7年5月19日(月)

報告事項

1. 令和7年5月上旬現在の生乳生産状況及び4月末クミカン取引状況について

	当農協	釧路管内	※前年対比
5月上旬	104.5%	103.0%	
累計	104.6%	103.4%	

2. 畜産ICT事業の要望申請について

議決事項

1. 各種貸付金の貸付承認について
2. 令和7年度 役員報酬の個別支給額について
3. 臨時総会の日程及び提出議案について
4. 農協役員役務の分担について
5. 特定組合員の分担について
6. 令和6年度行政庁業務報告書の提出について
7. 釧路太田畜産クラスター計画について
8. 極みるく製品の価格改定について

第2回 臨時理事会報告

日時／令和7年5月9日(金)

議決事項

1. 役付理事の選任と理事の代理順位の決定について
2. 常勤役員引継書の立会人の使命について
3. 使用人の退職事由の除外について
4. 参事の任命について
5. 信用担当理事の選任について

令和7年
(2025年)

6月

行事予定

1 (日)	厚岸町民の森植樹
2 (月)	畜産クラスター協議会総会 中山間・多面的協議会総会
3 (火)	コントラ作業安全祈願祭 初生集荷
6 (金)	育成市場 一般市場
9 (月)	J A 釧路太田令和7年度臨時総会 第4回理事会
10 (火)	初生集荷
11 (水)	農繁期応援セール
12 (木)	一般市場
17 (火)	初生集荷
19 (木)	一般市場
23 (月)	初生集荷
24 (火)	乳牛市場
25 (水)	Aマート売出し
26 (木)	一般市場